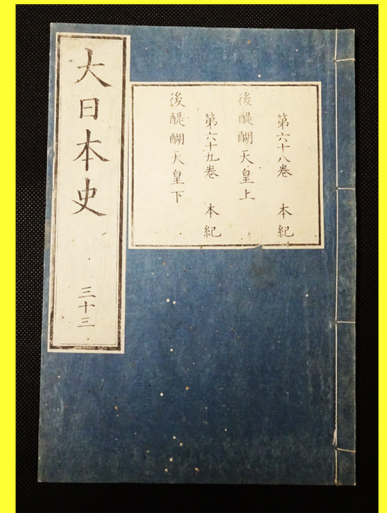


和とじでノートをつくらう！

「和とじ」とは、日本の伝統的な本の作り方のことです。
 和紙を二つ折りにしてまとめたあとに表紙の右側を糸でと
 じます。すべて手作業で行うので、とても手間がかかります。
 現在では、機械を使った洋式の方法で本（洋本）を作
 ることが多く、和とじで作られた本（和本）はあまり見か
 けなくなりました。

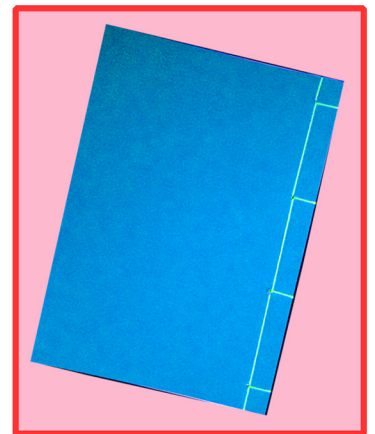


和とじのやり方

今日は一番かんたんな方法で
 和とじでノートを作ってみましょう！

用意するもの

- ★ボンド
- ★はさみ
- ★セロハンテープ
- ★A5サイズの厚紙 2枚（表紙・裏表紙の紙。色画用紙など厚めの紙が良い）
- ★糸（太めの糸のほうが見ばえが良い。つまようじを使う場合は太めが良い）
- ★本文ページ用の紙（A4）5～10枚
- ★クリップ 2個
- ★針（針が使えない子はつまようじ）
- ★目打ち



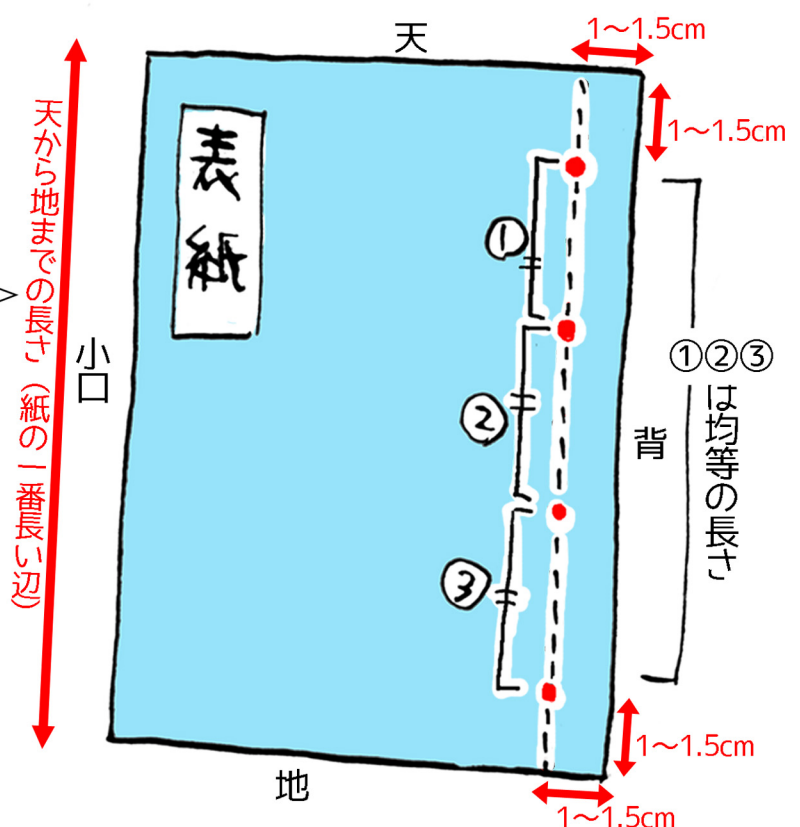
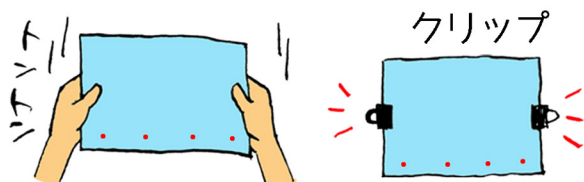
完成品

① 本文用の用紙を半分に折ります。和とじは本文用紙が袋とじになるように作ります。

② 穴をあける位置を決めましょう。じょうぎで測って表紙に印をつけます。

③ 表紙・本文用紙・裏表紙の順に紙をそろえます。机の上でトントン整えたら、クリップで固定。
 ②で印を付けた位置に目打ちで穴をあけます。

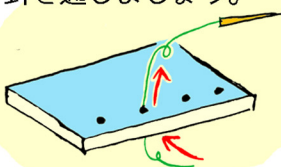
この4倍分の糸が必要です。長さを測って切っておきましょう！



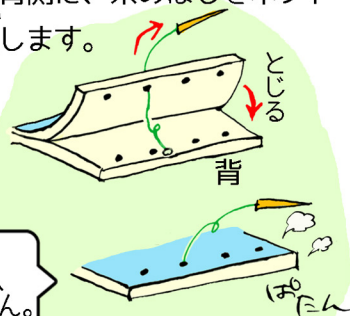
4 つまようじを使う場合は、つまようじに糸をテープなどで固定しておきます。



5 つづいて、針(つまようじ)で糸を通していきます。左から2番目の穴に下から針を通しましょう。

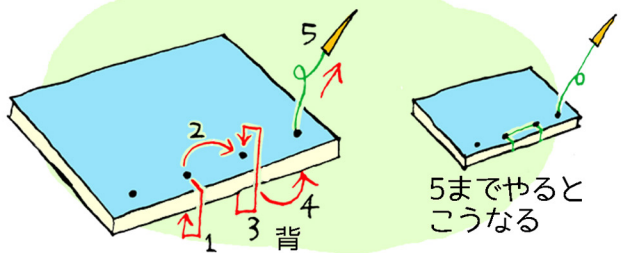


6 本文用紙の上から3・4枚目あたり、穴より背側に、糸のはしをボンドで固定します。

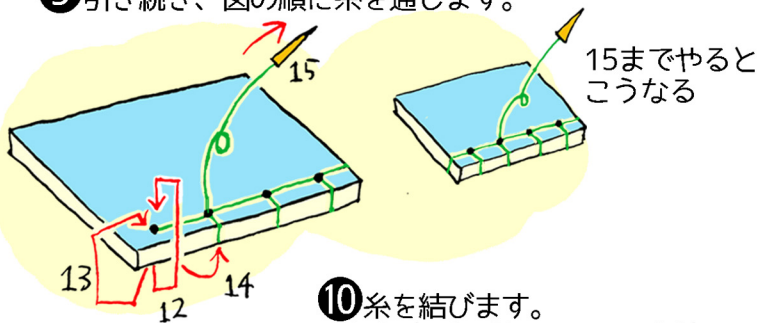


7 図の順に糸を通しましょう。
 (1)背を通り、下から穴に糸を通します。
 (2)となりの穴へ。
 (3)下から背を通り、上の穴から下へ。
 (4)となりの穴へ下から上へ糸を通します。

針を使う場合は、糸のはしをむすんで穴より大きいコブをつくって糸を通せば、ボンドで固定しなくても糸はずれません。

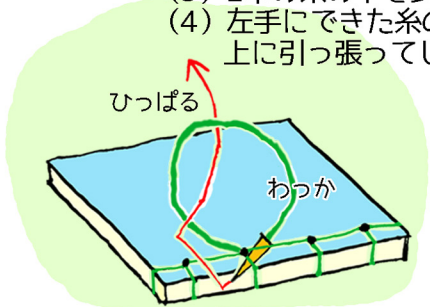
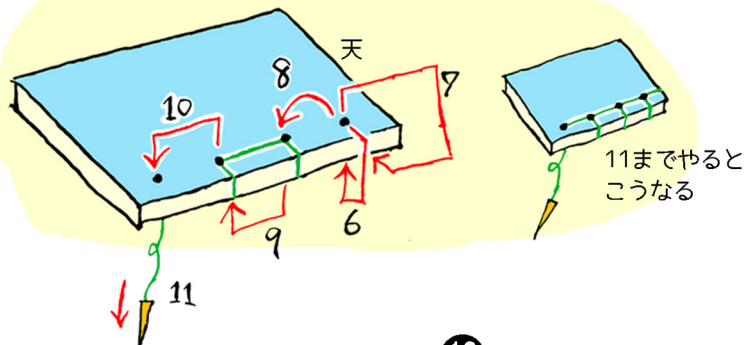


9 引き続き、図の順に糸を通します。



8 引き続き、図の順に糸を通します。
 (7)では上から天を通して下の穴から上へ糸を通します。

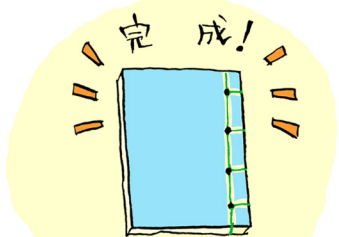
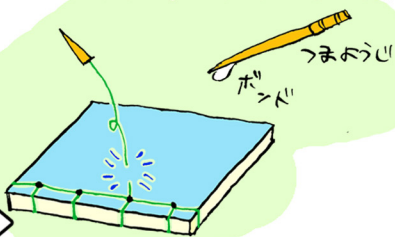
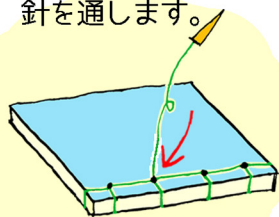
10 糸を結びます。
 (1)右手で針(つまようじ)を持つ
 (2)左手で糸を持つ
 (3)2本の糸の下を針でくぐる
 (4)左手にできた糸のわっかを通り、上に引っ張ってしぼる。



11 むすんだ穴にもう一度針を通します。

12 3mmほど残してハサミで糸を切ります。ボンドをつけたつまようじで、のこった糸のはしを穴の中へうめこみます。

13 ボンドがかわいたら完成!



針を使っている場合は3mm残さずに切っても大丈夫です。針と糸さえあれば、ボンドやノリがなくても本が作れてしまいます!

好きな色の糸や好きな模様の紙をつかっていろんなノートをつくってみよう!



自由研究のノートに使ってもいいかも!

にらみんに行くとむかしの人が使っていた本物の和とじ本が見られるよ!

蕪崎市民俗資料館

〒407-0004 蕪崎市藤井町南下條786-3
 ☎ 0551-22-1696
 9:00~16:30 (木曜日は13:00~16:30)
 休館日: 毎週月曜・祝日の翌日 他
<http://niramin01.blog43.fc2.com/>

にらみんブログ QRコード

